

超低空頭場所打ち杭工法

NETIS : KT-200148-A

出展者名：鉄建建設株式会社

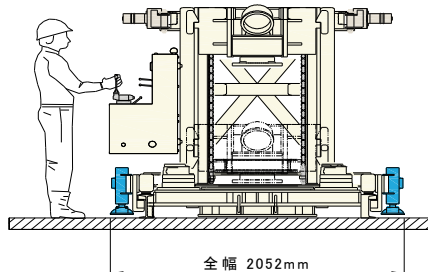
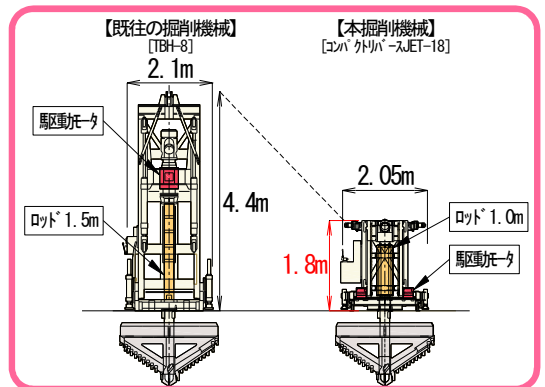
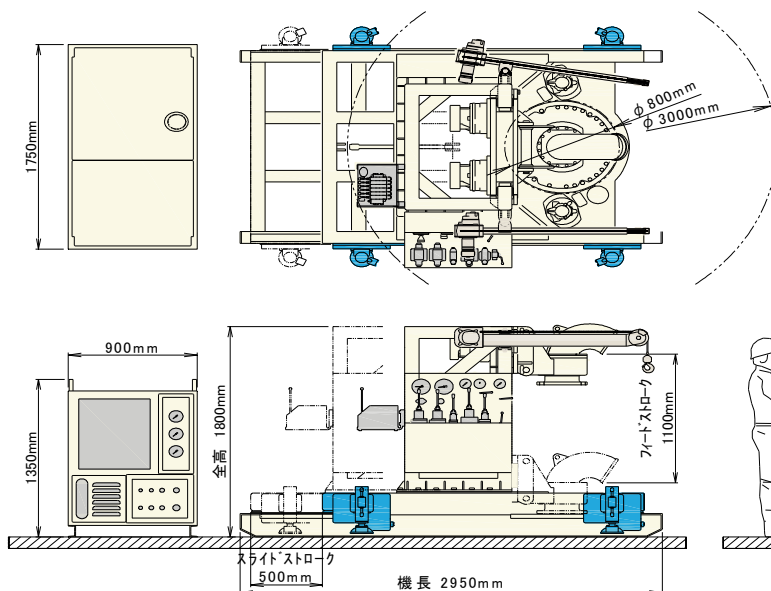
工法の概要

◆目的：空頭に制限があり、狭隘な施工環境でも機械掘削による杭を構築

◆効果

- ①超低空頭場所打ち杭工法（機械名称：コンパクトリバーズJET18）は、狭隘かつ超低空頭の施工条件でも、杭径3.0mまでの大口径掘削が可能
- ②道路橋改良・駅改良・耐震補強工事等において、既往のインフラ機能への影響（道路交通規制など）を最小限に抑えて場所打ち杭の構築が可能
（※鉄道工事を中心に550本以上の施工実績あり）

第18回 国土技術開発賞 入賞



機 械 名 称：コンパクトリバーズ JET18

機 械 寸 法：(H)1,800mm×(L)2,950mm×(W)2,052mm

機 械 重 量：約 4,000kg

スピンドルトルク：29.4kN-m/7.5r.p.m. (14.7kN-m/15r.p.m.)

押上げ(下げ)力：98.1kN

油 圧 ユ ニ ッ ト：30kW, 4P (H)1,350mm×(L)1,750mm×(W)900mm W=1,100kg



↑工法紹介動画



橋桁下での施工

(高速道路橋の耐震補強工事にて実績あり)



鉄塔下での施工